

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会
委員総会

令和3年3月

付議事項

□議案

- 議案 1 監事選任の件
- 議案 2 監事の報酬に関する件

□報告事項

- 1 2021年度事業計画
- 2 2021年度収支予算
- 3 出展基本計画検討部会・ワーキンググループの設置

議案1 監事選任の件

■規約第7条第2項の規定により、下記の者を選任する。

白井 弘 氏 (白井公認会計士事務所 公認会計士)
※日本公認会計士協会近畿会より推薦

任期：2021年4月1日から4年間

参考：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会規約（抜粋）

(役員の設定)

第6条 委員会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 会長代行 1名
- (3) **監事 2名以内**

(役員を選任)

第7条 会長及び会長代行は、第11条に規定する委員総会の決議によって、委員たる法人又は団体の代表者から選任する。

2 **監事は、委員総会の決議によって選任**する。

(役員任期)

第10条2項 役員任期は、選任の日から4年とし、再任を妨げない。

議案 2 監事の報酬に関する件

監事の報酬の額を次のとおりとする。

- 監 事：年間総額30万円（期中監査、期末監査ともに行った場合）
費用弁償については報酬額に含むものとする
2021年度は期末監査を行わないため年間総額20万円

報告事項 1 2021年度事業計画

■2021年度事業計画

I. 事業方針

当推進委員会は、今般、大阪府及び大阪市において策定された「2025年大阪・関西万博出展参加基本構想」（以下、「構想」という。）に基づき、“「人」は生まれ変わる”、“新たな一步を踏み出す”という意味を込めた「REBORN」をテーマに開催都市・大阪が世界に貢献する姿を示し、そのパワーを全世界に発信することを目指し、大阪・関西万博への出展参加を実現する。

このため、2021年度においては、構想の内容を具現化し、大阪パビリオンのマスタープランとなる「出展基本計画」（以下「計画」という。）の策定を行う。計画は、建築、展示、行催事、万博開催期間中のパビリオン運営及びこれらにかかる財源確保、レガシーの利活用など、計画から実施、運営までをより効果的・効率的に行う内容を盛り込む。今年秋ごろまでに計画素案の策定を目指し、年度末までに成案とする。本計画素案に基づき、パビリオンの基本設計に着手する。

なお、事業を効果的に進めていくための委員参加促進、WG開催等につとめる。

II. 事業内容

1. 出展基本計画の策定

◇計画の構成内容（予定）

① 全体概要（展示の概要）

出展参加テーマ「REBORN」を踏まえたテーマ展開及びそのコンセプト、事業推進の考え方、パビリオンのゾーニング、万博開催前にオープンするバーチャル大阪館（仮称）の基本方針などを全体概要としてとりまとめて記載。

②展示計画

テーマに沿った展示の基本方針、コンセプトやストーリー、演出内容、展示空間・構成、展示展開例などを具体的に記載。バーチャル大阪館（仮称）における展示の展開を記載。

③建築計画

パビリオン施設の建築基本方針（施設の規模〔敷地面積・建築面積・延床面積〕・構造・設備等の基本方針）、建築の要件・留意点、建築物の展開例などを具体的に記載。

④行・催事計画

行・催事の基本方針、主な行事（内覧会、オープニング式典等）、イベント催事空間での主なイベント・催事（イベント・催事の枠組み、展開スケジュール）、企業や団体等の参加方法・条件などを記載。バーチャル大阪館（仮称）におけるイベント等の展開についても具体的に記載。

⑤商業活動計画

物販、飲食、その他サービスの提供についての基本方針、店舗出店枠の設定と条件、配置、出展スケジュールを記載。公式グッズの企画・創出、展開方法について記載。

⑥広報計画

広報展開の基本方針、年度ごとの広報戦略などを具体的に記載。

⑦運営計画

運営にかかる業務の区分・体制、スタッフ等の配置、研修などの基本方針を記載。

⑧財務計画

パビリオンの建築から展示・イベントの実施、運営、万博終了後の撤去に係る一連の事業に必要な財務計画及び資金確保策、展開スケジュールを記載。

(資金確保と機運醸成の両面から、ふるさと納税制度にかかる効果的な取組みについて検討を進める。)

⑨全体スケジュール

大阪・関西万博が開催される2025年度末までの全体スケジュールについて具体的に記載。

⑩レガシー

ハード及びソフトについて、万博後の活用方針を記載。

2. バーチャル大阪館（仮称）の検討、構築

大阪府市における「大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関する有識者懇話会バーチャル大阪館（仮称）等部会」の検討内容（令和3年2月19日同懇話会にて報告）をベースに、大阪・関西万博が開催される前に、バーチャル空間を活用した展示やイベントを展開する「バーチャル大阪館（仮称）」を開設し、大阪ゆかりの多様な主体の参加により、テーマ「REBORN」に沿った展示やイベント、交流、体験が行える空間を提供する。

バーチャル空間の整備にあたっては、バーチャルプラットフォームの構築を進め、本年度後半に、プレ運用の開始を目指す。構築にあたっては、大阪府及び大阪市が予算を投入するが、ランニングコストも含めて自走でき、万博後もレガシーとなるよう運営の仕組みも含めて検討し、取り組んでいく。

3. パビリオン基本設計の着手

出展基本計画素案をベースに、パビリオンの基本設計に着手する。

4. 推進委員会の円滑な運営

- ・大阪パビリオンへの参加意向のある企業へのコンタクトにより、企業からの委員の参画を促進するとともに、部門別のプロデューサーを選任し、新技術やノウハウを有し、出展に向けた企画・検討に関わる企業の参加を得て出展基本計画検討部会・WGを運営する。
- ・今後、理事を選任し、理事会運営も検討していく。
- ・本格的な執行体制移行を踏まえて、今後、事務所設置を検討していく。

報告事項 2 2021年度収支予算

■2021年度収支予算

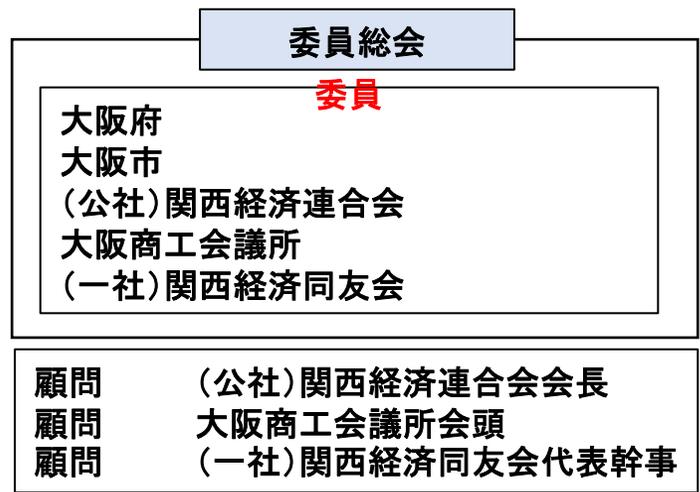
(単位：円)

項目		金額	備考
収入の部			
	自治体負担金	92,144,000	内訳 大阪府負担金 46,072,000 大阪市負担金 46,072,000
	その他の収入	50,000,000	大阪パビリオン基金より収入
合計		<u>142,144,000</u>	
支出の部			
	出展基本計画策定費	50,000,000	
	基本設計費	18,000,000	
	事務費	24,144,000	主な内訳 ・ホームページ制作運営 ・Web会議システム ・什器、OA機器レンタル ・会議等運営 ・プロデューサー業務委託 ほか
	パビリオン整備等積立金	50,000,000	
合計		<u>142,144,000</u>	

報告事項3 出展基本計画検討部会・ワーキンググループの設置について

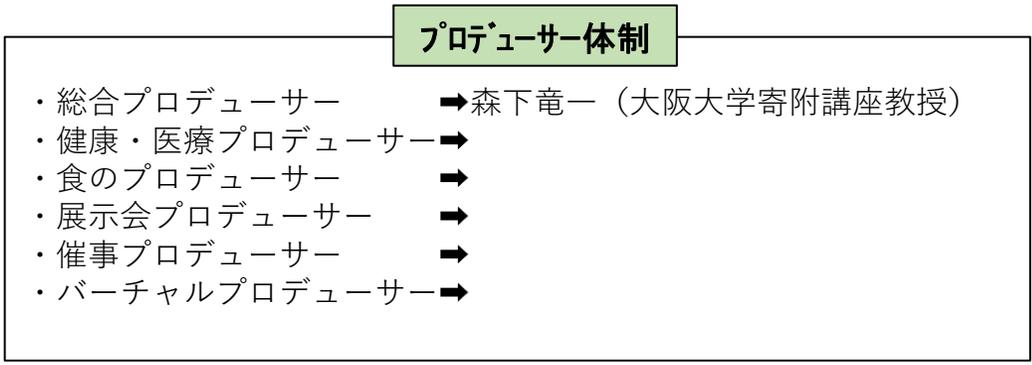
・パビリオンの展示区分を「健康・医療(ヘルスケア、未来の病院)」「食・レストラン」「バーチャル空間・デジタル化」「展示会」「イベント・催事」の区分とし、展示内容に応じたワーキンググループを設置し、各部門プロデューサーを選定する。
 ・一定条件の下、委員会へ企業が委員として参加し、うち、出展基本計画に関わる意向のある企業等がワーキングに参加して、部門プロデューサーの調整のもと、「オープンイノベーション」で出展内容を企画。

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会



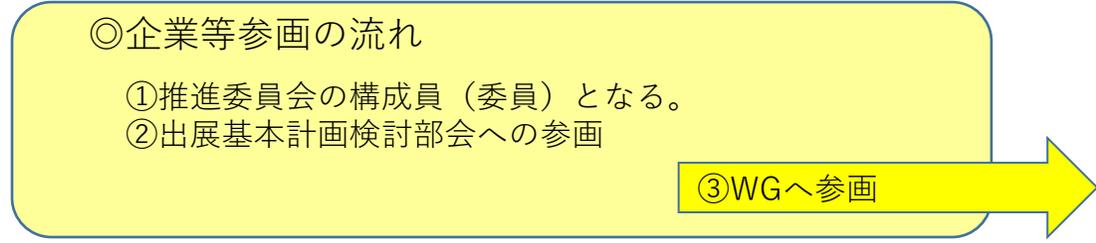
会長 : 大阪府知事
会長代行 : 大阪市長

監事

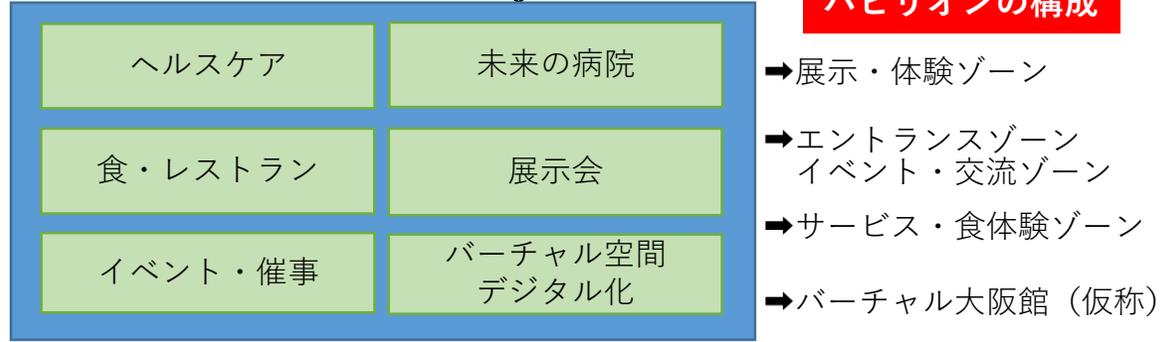


■ 部会の設置

出展基本計画検討部会



■ ワーキンググループの設置 <WGイメージ>



※なお、WGにおけるご提案等についてはプロデューサーや大阪府・大阪市との協議の過程で、出展企画の規模の縮小や採択に至らない場合があります。